



▲ヴィオラの音色に50名が耳を傾けました。

餅つきお楽しみ会』を企画し、4日から朝里川温泉にて合宿している『第8回ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス』の受講生7名を招き、ヴィオラの生の音色を聴きたいと約50名が集まりました。

楽器紹介ではヴィオラを初めて見る方が多く、形はヴァイオリンより少し大きめで音階は低めであることの説明がありました。

曲あてゲームでは、童謡など誰にでもわかる曲を演奏、『マル!マル!モリ!モリ!』のイントロでは、歌って踊りたいチビっ子2名がステージへ駆け寄り、会場内が和やかな雰囲気になりました。

前列に座っていた佐久間もな美さん(朝里小1年)は、「少しだけヴァイオリンを弾けるので、ヴィオラはどんな音か聴きたかった。楽しかった」と感想を。1月28日(土)の札幌ニューイヤーコンサートでも演奏を予定している『ワルツ“美しく青きドナウ”』を全員で演奏、アンコールは『浜辺の歌』を披露。

終了後、受講生も加わり、餅つきやゲーム大会が行なわれ、町内会の皆さんと歓談。現在スイス、ドイツなどに滞在し、世界で活躍中の7名の演奏家と楽しく交流していました。

(花田ひろみ)

ゲームやお餅つきで楽しい

新光南町会

ヴィオラで曲あてゲーム♪

新光南町会の『新春ふれあい広場』(青少年育成部主催)が1月8日(日)午前10時より新光南会館(新光5)で行われました。

今年は『ヴィオラ演奏会&お